

## 抗 EID1 抗体, マウスモノクローナル (#26)

商品コード	71-185
容量	100 µg
保存	-20°C
濃度	1mg/ml
バッファー	PBS- with 50% glycerol
純度	ハイブリドーマの培養液から proteinA で精製した
抗原	ヒト EID1 タンパク質のアミノ酸 159~187 を含む合成ペプチド
アイソタイプ	マウス IgG2a κ
反応性	ヒトおよびマウス
特記事項	抗原ペプチドはマウスにおいても同じ配列である
アプリケーション	1. ウェスタンブロッティング (~1µg/ml) 2. 蛍光免疫染色 (~1µg/ml)
背景	EID1 (EP300 interacting inhibitor of differentiation) は 21 kDa のタンパク質で、RB1 及び EP300 タンパク質と結合して MYOD1 遺伝子の転写のレプレッサーとして機能する。EID1 は EP300/CBP のヒストンアセチルトランスフェラーゼ活性を阻害する。EID1 は細胞周期の進行の終了と細胞分化に必要な遺伝子の転写制御をカップルさせる機能に関与していると考えられている。
Data Link	UniProtKB/Swiss-Prot <a href="#">Q9Y6B2</a> (EID1_HUMAN)
※本製品は研究用です。診断および軍事目的に使用することはできません。	

画像: 71-185 抗 EID1 抗体, マウスモノクローナル (#26)

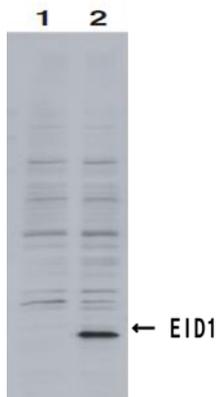


図 1. 細胞粗抽出液中の EID1 タンパク質ウエスタンブロットニング

乳癌細胞 MCF7 細胞にベクター-pCMV1 (レーン 1) または EID1 発現ベクター-pcDNA3/EID1 (レーン 2) をトランスフェクションして培養し、それらの細胞粗抽出液をモノクローン抗体#26 を一次抗体とし、HRP 結合抗マウス IgG を二次抗体として用いて、ウエスタンブロットニングを行った。21 kDa のタンパク質の位置 (矢印) に EID1 タンパク質を検出できる。

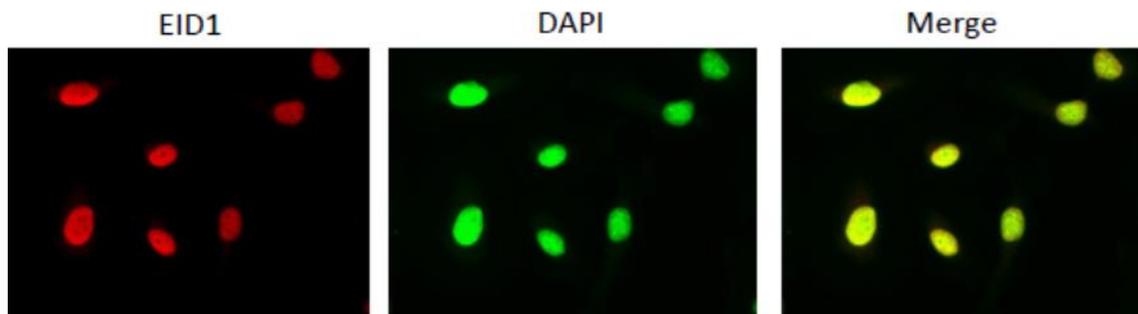


図 2. 抗 EID1 抗体 (#26) を用いた関節免疫蛍光染色による HeLa 細胞中の EID1 タンパク質の同定

細胞は 4% paraformaldehyde で固定し、0.25% Triton X-100 で透過処理をした。抗 EID1 抗体は 1/1,000 希釈で使用。二次抗体は Alex 488 で標識したヤギ抗ウサギ IgG 抗体を 1/1,000 希釈して用いた。

DNA は DAPI で染めた。EID1 タンパク質は核に局在している。

関連製品 # 71-190 抗 EID1 抗体、マウスモノクローナル (#2)